

製造プロセスで世界初！ 昭和電工のアンモニア製造プロセスがエコマーク認定を取得

昭和電工株式会社（社長：市川 秀夫）のアンモニア製造プロセスが、公益財団法人日本環境協会が実施するエコマーク認定制度において、製造プロセスとして世界初の環境ラベル*を取得しました。

エコマークは、生産から廃棄にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品・サービスにつけられる環境ラベルです。従来、商品の製造プロセスにはエコマークの認定基準はありませんでしたが、本年6月1日に「プラスチック製容器包装のリサイクルによるアンモニア製造プロセス」に初めて認定基準が制定され、7月17日、当社が認定第1号として取得しました。この基準では、容器包装リサイクル法に則り収集されたプラスチック製容器包装廃棄物（以下、使用済みプラスチック）を、ケミカルリサイクル手法（ガス化）により再商品化し、原料の一部としてアンモニアを生産する一連のプロセスを適用範囲としています。

当社は、前身である昭和肥料株式会社から80年以上にわたってアンモニアを製造しております。アンモニアの原料である水素は、一般に石油系原料から製造する方法が主流ですが、当社では2003年、使用済みプラスチックから水素を取り出す技術を導入しました。この技術は、使用済みプラスチックを熱分解によりガス化し、水素を主体とする合成ガスに改質するもので、現在、当社の液化アンモニア「エコアン®」の水素原料における使用済みプラスチック利用率は65%まで上昇しております。

アンモニアは事業者間で取引される工業製品ですが、本製造プロセスでは一般家庭で分別された廃棄物を原料としており、本製造プロセスがエコマーク認定を受けることで、資源循環の取組みを社会に発信し、一般消費者の分別意義の理解を深めることが期待できます。

当社は今後も、環境にやさしい製品および製造プロセスの開発を進め、持続可能な社会への貢献に努めてまいります。

以上

*世界エコラベリングネットワーク(GEN) <http://www.globalecolabelling.net/> に加盟している、ISO14024 に則り第三者が環境優位性を認定する「タイプI環境ラベル」



エコマーク認定
プラスチック製容器包装リサイクルによる
アンモニア製造プロセス
15504001
昭和電工川崎事業所

